

株式会社  
スーパードラッグストア  
クリエイト エス・ディー



## 第25期 株主通信

(平成19年6月1日～平成20年5月31日)

  
**CREATE SDS**  
SUPER DRUG STORE

証券コード：2794

# 268 店舗

展開中

平成20年5月末現在 調剤専門薬局数含む

神奈川県…158店舗	千葉県 ……14店舗
東京都 ……41店舗	群馬県 ……5店舗
静岡県 ……38店舗	茨城県 ……4店舗
埼玉県 ……8店舗	

神奈川県を中心に、  
当期はさらに茨城県にも出店！  
続々と店舗エリアを拡大中。



群馬

埼玉

茨城

東京

神奈川

千葉

静岡

経営理念

私たちはお客様の近くにおいて、  
お客様との「ふれ合い」を大切にします。

経営の  
基本方針

整理・整頓  
極めて感じの良い対応（挨拶）

当社はこれらを実践して、お客様からマイドラッグストア（かかりつけの薬剤師さんのいるドラッグストア）と呼ばれ信頼をいただけるお店づくりを目指しております。

# 株主の皆様へ

相談できるマイドラッグストアを目指し、  
着実な成長に向けて引き続き取り組んでまいります。

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より温かいご支援と格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

第25期株主通信（事業報告）をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

ドラッグストア業界におきましては、薬事法の改正をはじめとする社会の動きに加え、業界再編の動きも加速化し、業界内・外との競争も激しさを増しております。

このような状況の中で当社は、ポイントカードシステムを活用した、新聞折込チラシに頼らない効率的な販売促進

策を継続するとともに、各種健康相談会の定期開催店舗の拡大等により、地域のお客様に密着した店づくりを行ってまいりました。また店舗展開エリアも徐々に拡大し、当期は茨城県にも出店を開始いたしました。薬事法改正による医薬品販売方法の変化に対応するため、薬剤師の確保・育成に加え新たな専門資格である「登録販売者」の育成に、全社をあげて取り組んでいるところでございます。

今後も郊外型ドラッグストアを中心とする一方で様々なタイプの出店形態にもチャレンジしながら積極的に店舗網を拡大し、従来以上に人材育成と接客レベル向上に注力することにより、地域になくてはならない店づくりに取り組んで参ります。

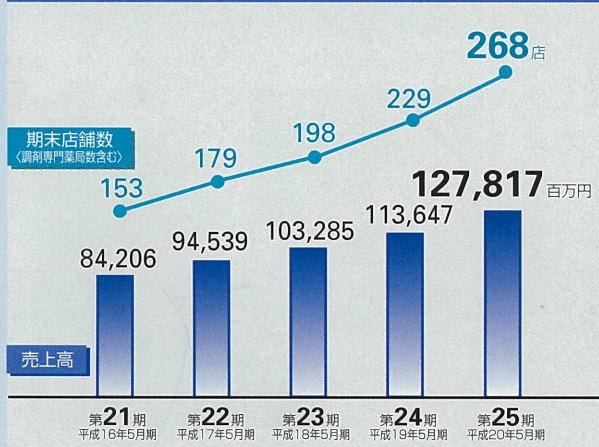
株主の皆様におかれましては、引き続きより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年8月



代表取締役社長  
若尾 鐵志郎

## 店舗数／売上高の推移



## 株主アンケートへのご協力をお願い

弊社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施しています。本書裏表紙にアンケートサイトへのアクセス方法が記載されています。

ご協力よろしく申し上げます。

## 調剤薬局併設を加速化し在宅事業も開始

ヘルスケアに関わる地域の拠点としての利便性を高めるため、当期は5箇所のOTC店舗に併設する形で調剤薬局をオープンしました。これにより、期末時点の調剤薬局数は29店舗（うち併設型20店舗）となりました。

また老人ホームに入居の方への訪問服薬指導の取組みを開始いたしました。

個室への訪問はもちろんのこと、医師の往診に同行したり、施設職員とのカンファレンスミーティングに参加することにより、入居者の情報を共有し、服薬指導に生かしています。



浜松半田山店薬局

訪問服薬指導

## 健康・栄養相談会実施店舗を更に拡大

セルフメディケーションの考え方にに基づき、健康・病気予防に関して薬剤師にお気軽にご相談いただく第一歩として、テーマ別の健康相談会を定期開催している店舗は、期末時点で59店舗にまで拡大いたしました。

育児に関する不安解消のため管理栄養士にご相談いただける「ママとベビーの栄養相談会」も39店舗で定期開催しており、今後いずれも開催店舗を増やしていく予定です。



「ママとベビーの栄養相談会」平塚御殿店

## 第3回「クリエイトあるこう会」開催

第1回の箱根、第2回の秦野弘法山に続き2007年11月3日（土）に第3回クリエイトあるこう会を開催し、天候にも恵まれ約600人の方にご参加いただきました。

今回はこれまでの山歩きに代わり、平塚から江ノ島にかけての湘南海岸を、潮の香りを胸いっぱい吸い込みながら歩いていただきました。ゴール地点では、恒例の健康相談会も開催し健康状態の確認と維持・向上を図っていただきました。



あるこう会in湘南江ノ島

## エコキャップ運動展開開始

使用済みペットボトルキャップを集め売却した代金を、途上国へワクチンを送る団体に寄付する活動に協力をはじめました。当初横浜市都筑区の小学校からの要請に基づき荏田南店でスタートし、現在27店舗の店頭回収ボックスを設置しています。お客様のご協力により、当社回収分だけでこれまで既に1,400人分のワクチンを途上国に送った計算になります。回収ルートを整備した上で、今後更に対象店舗を拡大していく予定です。



27店舗で回収中



ご協力を積み重ねて団体へ

### 会社概要

商号 株式会社クリエイトエス・ディー  
 本社所在地 神奈川県横浜市青葉区荏田西1-9-15  
 設立年月日 昭和58年5月19日  
 資本金 13億574万円  
 従業員数 1,334名 (パートナー・アルバイトを除く)  
 事業内容 医薬品、化粧品、食料品 (加工品、日配品)、  
 日用雑貨品等の販売及び調剤薬局の経営

### 役員

代表取締役会長 山本 久雄  
 代表取締役社長 若尾 鐵志郎  
 常務取締役 山本 いづ子  
 取締役 斉藤 宰  
 取締役 江口 温  
 取締役 中浦 茂人  
 取締役 高木 均  
 常勤監査役 清家 弘直  
 監査役 馬庭 修一  
 監査役 園山 富徳

### 株式の状況

発行可能株式総数 53,720,000株  
 発行済株式の総数 22,194,228株  
 (自己株式124株)  
 株主数 4,518名

### 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
山本久雄	5,340	24.06
株式会社ヤマモト	4,314	19.44
山本洋平	2,663	12.00
山本いづ子	1,720	7.75
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,298	5.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,160	5.23
クリエイトエス・ディー従業員持株会	361	1.63
第一生命保険相互会社特別勘定年金口	286	1.29
野村信託銀行株式会社 (投信口)	189	0.85
クレジットスイスファーストボストンヨーロッパ ビービーセクアイエヌティノントリーティクライエント	185	0.83

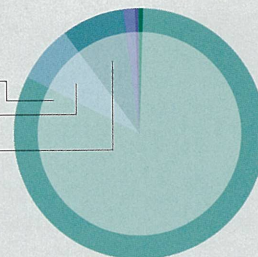
所有者別株式数分布状況

金融機関	17.56%
証券会社	0.04%
その他の国内法人	20.78%
外国法人等	8.09%
個人その他	53.53%



所有数別株主数分布状況

1単元未満	0.53%
1単元以上	81.45%
5単元以上	7.33%
10単元以上	8.83%
100単元以上	1.51%
1,000単元以上	0.35%



当事業年度におけるわが国経済は、輸出企業を中心とした設備投資に支えられ、緩やかな回復軌道をたどっていましたが、年度後半には、原油価格の高止まり、原材料価格の高騰及び米国発の金融市場の混乱などにより景気減速が懸念されるようになってまいりました。個人消費につきましても、ガソリン価格及び原材料価格の高騰を背景としたメーカー出荷価格の値上げ発表が相次いでおり、先行きの消費者物価の大幅上昇への不安が高まり、力強さを感じられずに推移いたしております。

当業界におきましては、消費者の根強い健康志向はあるものの、各社の積極的な出店、FC展開、事業統合等による業容の拡大の動きは依然として続いており、厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社は「地域に密着したドラッグストア」を実現するため、チラシ広告による集客に頼らず、ポイントカード会員を中心とした固定客づくりを一層進めるため、月6回のポイント2倍デーの訴求に努めた他、薬剤師による「健康相談会」を59店舗に、管理栄養士による「栄養相談会」を39店舗にそれぞれ拡大してまいりました。また、「極めて感じの良い対応推進部」を新設し、接客サービスの更なる向上に努めてまいりました。

商品面では、高品質のプライベートブランド商品の開発、販売に継続して取り組むことにより消費者物価の上昇が懸念される中、「品質と価値」を備えた商品を提供するなど、地域のおお客様のご期待に添うべく努力をしております。

一方、地域社会とのふれあいを深めるために、第3回「クリエイトあるこう会」を湘南海岸で実施し、600人の参加を得て、地域のおお客様の交流・健康づくりの場を提供してまいりました。また、社会貢献活動の一環として一昨年よりはじめました、「エコキャップ運動」の参加店舗を27店舗に拡大し、当年度は1,400人分のワクチン代相当分のキャップを地域の皆様とともに集め、途上国の子供の病気予防活動に協力してまいりました。

新規出店につきましては、ドラッグストア事業部門では従来の出店エリアに36店舗、新たに茨城県に4店舗の合計40店舗を出店いたしました。

調剤薬局事業部門では、ドラッグストアへの併設の形

で5店舗を開設いたしました。

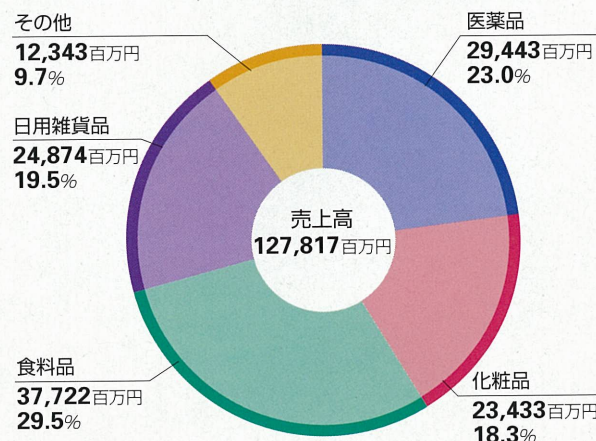
また、経営効率化の観点等からインターネット上に開設してありました「楽天市場店」を閉鎖した他、スクラップアンドビルドによりドラッグストア1店舗を閉鎖いたしました。

以上により、当事業年度末の店舗数は直営ドラッグストア257店舗（うち調剤薬局併設19店舗）、FCドラッグストア2店舗（うち調剤薬局併設1店舗）、直営調剤専門薬局9店舗の合計268店舗となりました。

主要な品目別売上高は、医薬品部門29,443百万円（前年同期比13.9%増）、化粧品部門23,433百万円（前年同期比15.7%増）、食料品部門37,722百万円（前年同期比10.1%増）、日用雑貨品部門24,874百万円（前年同期比14.4%増）、その他部門12,343百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

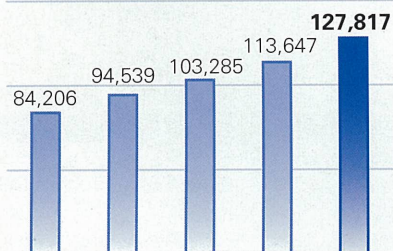
これらの結果、売上高は127,817百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益7,732百万円（前年同期比14.9%増）、経常利益7,860百万円（前年同期比15.4%増）、当期純利益4,260百万円（前年同期比15.8%増）となり、7年連続して過去最高益を更新いたしました。

セグメント別売上高構成比



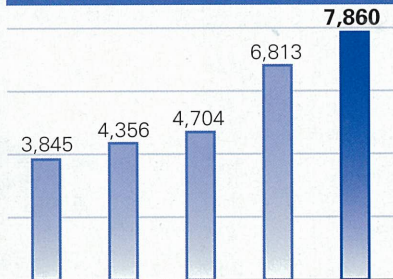
	第21期	第22期	第23期	第24期	第25期
売上高 (百万円)	84,206	94,539	103,285	113,647	127,817
経常利益 (百万円)	3,845	4,356	4,704	6,813	7,860
当期純利益 (百万円)	1,931	2,279	2,486	3,679	4,260
総資産 (百万円)	25,483	29,316	33,127	40,413	46,162
純資産 (百万円)	11,212	13,163	15,323	18,691	22,390
1株当たり当期純利益 (EPS) (円)	418.44	401.06	224.03	165.80	191.96
総資産経常利益率 (%)	16.3	15.9	15.1	18.5	18.2
自己資本利益率 (%)	21.0	18.7	17.5	21.6	20.7

売上高 (単位: 百万円)



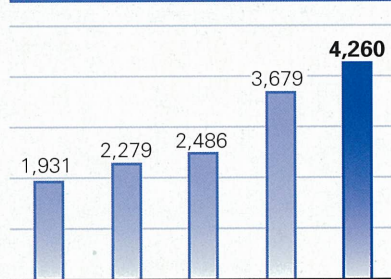
第21期 第22期 第23期 第24期 第25期  
平成16年5月期 平成17年5月期 平成18年5月期 平成19年5月期 平成20年5月期

経常利益 (単位: 百万円)



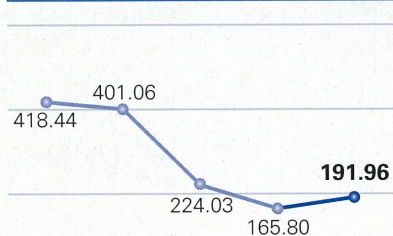
第21期 第22期 第23期 第24期 第25期  
平成16年5月期 平成17年5月期 平成18年5月期 平成19年5月期 平成20年5月期

当期純利益 (単位: 百万円)



第21期 第22期 第23期 第24期 第25期  
平成16年5月期 平成17年5月期 平成18年5月期 平成19年5月期 平成20年5月期

1株当たり当期純利益 (EPS) (単位: 円)



第21期 第22期 第23期 第24期 第25期  
平成16年5月期 平成17年5月期 平成18年5月期 平成19年5月期 平成20年5月期

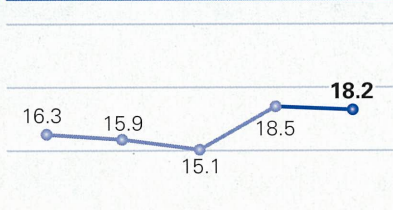
一般にEPSは、株価の割安・割高を判断する基準の一つである株価収益率 (PER) 等の指標の算出要素となります。

EPS (円) = 当期純利益 ÷ 期中平均発行済株式数

PER (倍) = 株価 ÷ EPS

なお、第23期及び第24期は、1:2の株式分割を行っております。

総資産経常利益率 (単位: %)

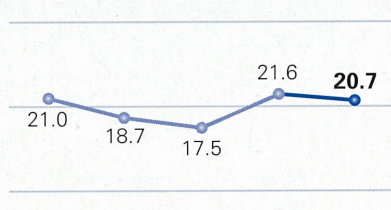


第21期 第22期 第23期 第24期 第25期  
平成16年5月期 平成17年5月期 平成18年5月期 平成19年5月期 平成20年5月期

総資産経常利益率は、会社が調達したお金 (自己資本+他人資本) を使って当期にどのくらい利益を上げたかを見る指標です。

< 経常利益 ÷ (期首総資産+期末総資産) ÷ 2 × 100 >

自己資本利益率 (単位: %)



第21期 第22期 第23期 第24期 第25期  
平成16年5月期 平成17年5月期 平成18年5月期 平成19年5月期 平成20年5月期

自己資本利益率は、株主の皆様のお金をどの位活用して、当期にどのくらい利益を上げたかというところを見る指標です。

< 当期純利益 ÷ (期首自己資本+期末自己資本) ÷ 2 × 100 >



## 財務諸表

### 貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第25期 当事業年度 平成20年5月31日現在	第24期 前事業年度 平成19年5月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>1 流動資産</b>	<b>26,952</b>	<b>23,867</b>
現金及び預金	5,755	10,304
売掛金	1,341	1,046
有価証券	5,500	—
商品	11,784	10,124
前払費用	686	559
繰延税金資産	639	569
未収入金	1,127	1,138
その他	117	124
<b>2 固定資産</b>	<b>19,209</b>	<b>16,546</b>
<b>有形固定資産</b>		
建物	4,116	3,586
土地	1,334	1,334
その他	2,263	1,771
<b>無形固定資産</b>		
<b>332</b>	<b>350</b>	
<b>投資その他の資産</b>		
<b>11,163</b>	<b>9,504</b>	
長期貸付金	4,538	3,530
長期前払費用	989	648
繰延税金資産	456	366
建設協力金	581	719
敷金及び保証金	3,671	3,217
その他	978	1,040
貸倒引当金	△ 54	△ 20
<b>資産合計</b>	<b>46,162</b>	<b>40,413</b>

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### POINT

- 1 現預金が4,548百万円減少する一方、有価証券が5,500百万円増加。この有価証券の内容は譲渡性預金であり、金融商品取引法の施行により有価証券として表示しておりますが、価格変動リスクはありません。また、店舗増により商品が1,659百万円増加しました。
- 2 店舗増等により有形固定資産が1,022百万円、投資その他の資産が1,659百万円それぞれ増加しました。

(単位：百万円)

科 目	第25期 当事業年度 平成20年5月31日現在	第24期 前事業年度 平成19年5月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>3 流動負債</b>	<b>22,647</b>	<b>20,679</b>
買掛金	16,861	15,173
一年内返済予定長期借入金	51	46
未払金	1,385	1,391
未払費用	1,368	1,140
未払法人税等	2,120	2,243
未払消費税等	151	155
預り金	138	85
賞与引当金	79	69
その他	492	373
<b>固定負債</b>		
<b>1,124</b>	<b>1,042</b>	
長期借入金	146	197
その他	978	845
<b>負債合計</b>	<b>23,771</b>	<b>21,722</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>22,386</b>	<b>18,680</b>
資本金	1,305	1,305
資本剰余金	1,519	1,519
資本準備金	1,519	1,519
利益剰余金	19,560	15,855
利益準備金	13	13
その他利益剰余金	19,547	15,841
別途積立金	14,500	11,500
繰越利益剰余金	5,047	4,341
自己株式	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	4	10
その他有価証券評価差額金	4	10
<b>4 純資産合計</b>	<b>22,390</b>	<b>18,691</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>46,162</b>	<b>40,413</b>

- 3 店舗増により買掛金が1,687百万円、人件費増により未払費用が228百万円それぞれ増加しました。
- 4 増加は、配当金の支払により554百万円減少し、当期純利益により4,260百万円増加した結果であります。

## 損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第25期 当事業年度	第24期 前事業年度
	平成19年6月1日から 平成20年5月31日まで	平成18年6月1日から 平成19年5月31日まで
<b>1</b> 売上高	127,817	113,647
売上原価	94,627	85,426
<b>2</b> 売上総利益	33,189	28,220
販売費及び一般管理費	25,457	21,491
<b>3</b> 営業利益	7,732	6,729
営業外収益	181	119
営業外費用	53	35
経常利益	7,860	6,813
特別利益	2	42
特別損失	57	95
税引前当期純利益	7,805	6,760
法人税、住民税及び事業税	3,700	3,347
法人税等調整額	△ 154	△ 266
当期純利益	4,260	3,679

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第25期 当事業年度	第24期 前事業年度
	平成19年6月1日から 平成20年5月31日まで	平成18年6月1日から 平成19年5月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,508	6,525
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,955	△ 2,654
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 601	△ 354
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	951	3,516
現金及び現金同等物の期首残高	10,304	6,788
現金及び現金同等物の期末残高	11,255	10,304

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## POINT

- 1 新店40店舗及び既存店の伸びにより前期比12.5%増となりました。
- 2 プライベートブランド商品の拡大等により、売上総利益率が前期比1.2ポイント改善しました。
- 3 売上総利益率の改善と販管費の効率的な運用に努めた結果、前期比14.9%増となりました。

## 株主資本等変動計算書 (要旨) 第25期 (平成19年6月1日から平成20年5月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計		
平成19年5月31日残高	1,305	1,519	15,855	△ 0	18,680	10	18,691
事業年度中の変動額	—	—	△ 554	—	△ 554	—	△ 554
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
別途積立金の積立	—	—	—	—	—	—	—
当期純利益	—	—	4,260	—	4,260	—	4,260
株主資本以外の項目の事業年度中の 変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 5	△ 5
事業年度中の変動額合計	—	—	3,705	—	3,705	△ 5	3,699
平成20年5月31日残高	1,305	1,519	19,560	△ 0	22,386	4	22,390

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主様優待制度

## 制度概要

毎年5月31日現在の株主様・実質株主様に対し、「株主様お買物優待券」を以下の基準により贈呈します。従来の割引券方式に代わり、今回より500円相当の当社お買物券を所定枚数お贈りします。

## 贈呈基準

対象	内容
100株以上 500株未満の株主様	4,000円相当のお買物優待券 (500円券8枚)
500株以上 1,000株未満の株主様	8,000円相当のお買物優待券 (500円券16枚)
1,000株以上の株主様	12,000円相当のお買物優待券 (500円券24枚)

※ 招集通知と同封で株主様にお送りしたアンケートハガキによりカタログギフトをご希望の旨お知らせいただいた株主様には、「お買物優待券」に代えて当社指定のカタログギフトを贈呈します。

<9月下旬お届け予定>

## ご利用方法

当社店舗における券面額以上（税込）のお買上時にご利用ください。お釣りはお出しできません。また調剤薬局でのご利用はできません。

## ご利用期間

お買物優待券は発効日より**1年間有効**です。今回お届け予定のお買物優待券は、平成21年9月末日までご利用可能です。

使いやすくなりました。



## Q &amp; A

皆様からよくご質問のある項目



会社の決算内容の詳細や法定公告はどこで確認できますか？



当社は定款の規定により電子公告を採用していますが、会社法第440条第4項の適用を受けているため、貸借対照表等の電磁的公示は行っていません。

金融庁の下記サイトをご参照ください。

<https://info.edinet.go.jp/EdiHtml/main.htm>

なお、有価証券報告書、決算短信等に関しては、当社ホームページ「IR情報」の中の「IRライブラリ」からもご確認いただけます。

また決算公告以外の法定公告（株式分割等）に関しては、当社ホームページ「IR情報」の中の「公告」にて実施いたします。



▲当社ホームページ IR情報

当社HP「IR情報」URL

<http://www.create-sd.co.jp/ir/index.html>

# Web Information

## ホームページのご案内

当社のホームページでは株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っています。最新のニュース・トピックスを随時更新し、当社の事業活動や動向を紹介しています。当社をよりご理解いただくためにも、是非アクセスしてください。



<http://www.create-sd.co.jp/>

## 株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月
上記基準日	毎年5月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
公告掲載方法	当社ホームページにおける電子公告 ( <a href="http://www.create-sd.co.jp/ir/index.html">http://www.create-sd.co.jp/ir/index.html</a> )
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-232-711 (フリーダイヤル) 自動音声応答サービス0120-244-479 (フリーダイヤル) にて住所変更、配当金振込指定、変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求を24時間承っております。

株式会社 **クリエイト エス・ディー**

〒225-0014 神奈川県横浜市青葉区荏田西1-9-15  
TEL 045-974-3161

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **2794**

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
- ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



(株)クリエイトエス・ディーは環境管理システムに関する国際標準規格[ISO14001]を全店・本部で認証取得しています。

